

# 愛寿会だより

3 月号  
第 117 号  
平成 21 年  
3 月 1 日発行



【 八ヶ岳のやまどり

(小荒間地内)

※ 本誌は、愛寿会ホームページに掲載しておりますので、ご覧下さい。

## 「愛寿会だより」に寄せて

春光うらかな候 天地の万物がはつらつと活動する季節となりました。

皆様には、平素から北杜市議会に対する、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。このたびは、愛寿会だより巻頭言の執筆依頼を受け、誠に光栄と存じます。北杜市議会でも、議会定例会後に議会だよりを発行しており、編集委員が工夫を重ねる中で、市民の皆様によりわかりやすい議会情報をお知らせする努力をしております。また、市のホームページでも会議録などを公開しております。

せっかくの機会をいただきましたので、北杜市議会の紹介をさせていただきますと存じます。

議会では、平成十九年から議会改革に取り組んだことにより、昨年の選挙において、議員定数を四十二人から二十二人に削減いたしました。

そして、昨年からの議会改革の一環として、議員政治倫理規程の制定に関する調査特別委員会を設置し、議員のモラルと資質の向上に取り組んでおります。

議会は、年四回の定例会と必要に応じて開催される臨時会あり、市から提出された議案の審議、一般質問、五つの会派による代表質問、請願、陳情の審査などが行われます。

議員は、市民から選挙で選ばれた代表であり、さらに議員の中から議会を代表する議長、議長不在の時に議長の代わりを務める副議長が選挙されます。

## 北杜市議会議長 秋山俊和

また、議会は議場に集まって開催する本会議が中心となり、市の重要事項が決定されます。しかし、議会で扱う問題は広範囲であるため本会議とは別に詳しい審査等を行う委員会が設置されております。

委員会は、三つの常任委員会（総務、文教厚生、経済環境）と議会運営委員会、議会広報編集委員会があります。また、議会で特別な事件を審査、調査する時には、特別委員会が設置され、政治倫理や決算などの限られた事項をあつかいます。

市議会と市長の関係は、それぞれ孤立した機関であり権限と役割が区分されており、相互の牽制と調和により公正な行政を行うため、チェックアンドバランスの機能を活かして、市民生活の向上に努めております。

本会議、委員会は公開となりますので、この機会に多くの皆様の傍聴をお願いし、議会への関心を一層高めていただけますようお願い申し上げます。

市では、深刻な課題である少子化や超高齢化に対応するためさまざまな対策を進めておりますので、議会としても調査、研究を行い、市民サービスの充実と向上のため取り組んで参ります。

社会福祉法人愛寿会では、利用者本位のサービスの実践などの目標を掲げ、第二仁生園の整備や使い易い環境の整備を進め、先進的な福祉施設として県下でも注目されており、小澤理事長はじめ職員の皆様のご努力に敬意を表すところであります。

愛寿会の今後の益々のご発展と利用者の皆様のご健康をお祈り申し上げ、北杜市議会を代表し、あいさつとさせていただきます。

料金後納  
郵便便

差出人(差出発送代行)  
7-4  
佐川物流サービス(株)  
返送先: 〒140-0012  
品川区勝島1-1-1

冊子小包

この荷物をご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行いたします。

第二仁生園だより

二月十九日(木)、地元の男女混声合唱団の皆さんと、歌の交流会を行いました。

合唱団の皆さんに、春の歌や懐かしい歌を披露していただき、お返しとして入所者の皆さんは「たき火」と「さんぽ」を、楽器を使いご家族の伴奏のもと歌いました。

目の前での素晴らしい歌唱力に、入所者の方々も感動された事と思います。音楽の交流は、気分も楽しくなり皆さんの笑顔も一段と輝いていました。

外はまだ寒い中でしたが、園の中は和やかで暖かなひとときでした。



【合唱団・入所者・ご家族の合唱の様子】



愛寿会後援会・入会状況のご報告

昨年四月以降、多くの皆様にご理解を賜り、後援会にご入会をくださったその状況をご報告させていただきます。

区分	愛寿会 役員	企業・ 団体	個人・ 一般	合計
①二十年度	十七人	十七人	一〇〇人	一三四人
②十九年度	十一人	十五人	九六人	一二二人
①-②	六人	二人	四人	十二人

※この中には、終身会員十人の方も含まれています。

(平成二十年度は、二月二十日現在)

愛寿会では、仁生園の周辺整備や、第二仁生園の作業棟(仮称)の建設など、今後取り組んで行かなければならない課題を抱えています。

施設利用者本位の介護サービス、自立支援サービスの提供に向けて事業活動を展開するため、一層のご理解とご協力をお願いいたします。



【後援会役員会の様子】

仁生園に入所している皆様と

その保証人の方にお知らせ

介護保険の再認定について。

介護保険は一年ごとに(通常)再認定を受けなければならぬことになっております。認定については、各保険者で行っております。

再認定にあたり、介護保険の更新申請が必要となりますが、仁生園で代行手続きさせていただきますのでご安心下さい。

再認定の結果、現在要介護1、2で仁生園に入所されている方でも要支援1、2と判定されることがあります。

**要支援と判定されると退所しなければなりません。**

要支援と判定されると現行の介護保険制度では、たとえ特別養護老人ホームに入所していても退所しなければならぬ決まりとなっております。

万一、要支援と判定された場合は退所を余儀なくされてしまいますが、退所後につきましても、

○ 仁生園の居宅介護サービス

○ 各市町村の地域包括支援センター

がご支援させていただきますのでどうかご安心下さい。



【 鬼は外 福は内 】

## 節分

二月三日、今年も節分の豆まきを各フロアで行いました。手作りの鬼のお面を少し恥ずかしそうにかぶった入所者、「自分は赤鬼のお面がいい」と好きなお面を選び積極的に参加された方、袴を装った職員が登場するとその凛々しい姿に感動され、大きな声で「鬼は外」「福は内」と豆まきをして、節分の行事を終えました。豆まきの後お茶会を行い、紅茶を味わいながら、節分には鯛を串に刺して玄関の外に置いたなどという話や、若い頃の仕事をしみじみとおもしろく話ってくださいました方もおり、みんなで充実した時間を送ることができました。

節分の翌日は立春、小荒間はまだ日陰に雪が残っており、春の訪れはまだしばらく先になりそうですが、体に気をつけて元気に楽しく生活できますようお願いいたします。

## 接遇マナー研修会に参加して

森田 悦子

接遇マナーの重要性、豊かな人間関係を築く基本、信頼感を与える接遇動作等を学びました。

決められた手順で間違いなくケアを提供するだけではなく、プラスαの心配りを表すことが利用者の心をつかみ、それが選ばれる施設となるのではないのでしょうか。今回の研修で学んだ事を職員全員に伝達しプラスαとは何か、選ばれる施設になるには、どうしたら良いかを考え実践していきたいと思いました。

## アクティビティ研修報告

花輪 恭子

高齢者にとってのアクティビティレクリエーションの目標、目的、必要性について講義と音楽療法の実践を受講しました。

レクリエーションは種類、数とも無限にあり、対象者の年齢・性別・身体状況に応じて適材適所用いる事で、身体・精神・高次機能面において有効な効果が得られ、日常生活の中で楽しみなながら取り入れる事が大事です。

例えば季節の歌、童謡など手足を使い全体で唄う事で関節・感覚機能の維持・改善・回想・やすらぎ・心の発散。風船バレーを楽しめば筋力維持、意欲の引き出しなどです。

この様に毎日のレク活動に、少しの工夫と楽しみ、目的の追求などの取り入れの必要性。今回の研修において多くの事を学びました。

## 研修に参加して

澤井 恵

介護の現場で予想される病気、事故その予防と対応の研修に参加しました。

高齢に伴う変化、身体及び精神の健康が損なわれちよとした段差でも転倒することや、食事むせややすく食べ物がつかえてしまう、その為誤嚥や誤嚥性肺炎、脱水になることがあります。

症状もすぐに出ないこともありしますので、日々のケアで全身状態の観察や日常の変化に注意し予防できるよう努めていきたいと思えます。

## 口腔の健康管理と

摂食・燕下障害のケア

藤森 とよ子

口腔ケアは、むし歯や歯周疾患の予防だけでなく①誤嚥性肺炎の予防②摂食・燕下リハビリテーション③唾液分泌の促進④口臭の予防⑤食欲増進を促す⑥口腔機能の訓練⑦自ら身体を治すという意欲の高揚を促す⑧コミュニケーションの円滑化など効果があります。口腔ケアは自立や生活の質を向上させ食べる楽しみを長く持ちつづけるには必要です。

介護の現場では、毎食後義歯の清掃、歯みがきを行っていますが、研修に参加し口腔ケアの必要性をあらためて実感しました。もう一度職員全員が口腔ケアの重要性を自覚し実践していきたいと思えます。

～ おめかしの日 ～

毎月「おめかし」を行事に取り入れ、利用者の方々に化粧やマニキュア、ハンドマッサージなどを行っています。

普段からお化粧をする機会が少なかったり、昔からお化粧をしたことがない、また手の不自由から自分ではお化粧などが出来ない利用者の方々に、精神的なアンチエイジング（老化予防）や気分転換などを目的として実施しています。

お化粧をしてもらった自分の顔を鏡で見ながら笑顔で大喜びされる方や、リラックスしながらハンドマッサージを受けられる方、マニキュアを塗りながら昔話をされる方など日常生活では見られない利用者の方々の素晴らしい一面に出会うこともあります。



【 気分転換できました 】

来園されるみな様にお願ひ  
玄関に消毒液・マスクを設置してあります。手指消毒にご協力下さい。

～ アコーデイオンは懐かしい音色 ～

デイサービスには、月二回程アコーデオンのボランティアさんが来てくれています。アコーデオンの伴奏に合わせて歌を歌ったり、タンゴや懐かしい曲を演奏していただき、利用者の方々はとても楽しんでいらつしやいます。

ボランティアの方はレパトリーが広く、利用者様のリクエストにも応えて演奏をしていただけるので、一時間のレクリエーションもすぐに終わってしまう感じです。これからも末永く皆様に元気をくださいますようよろしくお願いいたします。



【 この時を  
いつも楽しみにしています 】

～ 後援会入会の方々 ～

(十二月二十日～二月二十日)

○山本 昭二 様      ○平井 静子 様

○進藤 英三 様      ○株新津組 様

後援会にご加入いただきましたみな様に厚く御礼申し上げます。

ご芳情 (二月一日～二月二十八日)

- ・レクボランティアほがらかグループ 様
- ・レクボランティアゆずっこの会 様
- ・北杜市 山鳩の会 様
- ・北杜市 保坂 多枝子 様
- ・北杜市 小野寺 毅 様
- ・北杜市 九里 靖裕 様

利用者状況 (二月末現在)

特別養護老人ホーム 仁生園	一三二名
仁生園ショートステイセンター	十八・二名
仁生園デイサービスセンター	三十八名
グループホームやすらぎ	九名
生活支援ハウスこあらま	九名
仁生園介護相談センター	三十五名
障害者自立支援ホーム 第二仁生園	三十名
第二仁生園ショートステイセンター	三名

愛寿会のサービスに何かご意見、ご要望などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。

仁 生 園

電話 0551-32-3340

第二仁生園

電話 0551-32-8270